

2025 年 7 月 8 日

各 位

会 社 名 小 田 急 電 鉄 株 式 会 社
 代 表 者 名 取 締 役 社 長 鈴 木 滋
 (コード番号 9007 東証プライム)
 問 合 せ 先 執 行 役 員 I R 室 長 山 本 武 史
 (TEL . 03 - 3349 - 2526)

「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に選定されました

当社は、継続的な ESG に対する取り組みが国際的に評価され、グローバルインデックスプロバイダーである FTSE Russell により構築された「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に2年連続で選定されましたので、お知らせします。



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**

■ 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」とは

環境、社会、ガバナンス (ESG) 評価の高い日本の大型株、中小型株のパフォーマンスを反映するように設計されたセクター・ニュートラルな指数です。本インデックスは、公的年金運用機関である年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF) の ESG 投資指数の1つとして採用されています。

※ FTSE Russell (FTSE International Limited と Frank Russell Company の登録商標) はここに小田急電鉄株式会社が第三者調査の結果、FTSE Blossom Japan Sector Relative Index 組み入れの要件を満たし、本インデックスの構成銘柄となったことを証します。FTSE Blossom Japan Sector Relative Index はサステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。
<https://www.lseg.com/en/ftse-russell/indices/blossom-japan>

■ 小田急グループの取り組み

当社グループは、経営理念を「お客さまの“かけがえのない時間 (とき)”と“ゆたかな暮らし”の実現に貢献します。」と定めています。環境や社会の持続性に配慮しながら継続的な企業成長を目指す「サステナビリティ経営の推進」はその根幹を成すものです。経営計画体系において、経営ビジョン「UPDATE 小田急」の上位概念となる不変の考え方として「サステナビリティ経営の推進」を位置付けることで、6つのマテリアリティ (重要テーマ) を経営の中心に据え、社会課題の解決を通じた持続可能な成長を実現していきます。

マテリアリティ	
1. 安全・安心	・安全・安心を最優先した公共交通サービスの提供 ・誰もが安心して暮らせる社会の追求
2. まちづくり・地域社会	・職、住、商、学・遊、ウェルネスを兼ねそなえたまちづくりの実現 ・地域資源を活かしたまちの発展
3. 日々のくらしと観光体験	・テクノロジーを活用したゆたかなライフスタイルの推進 ・その地域ならではの観光体験の提供
4. 環境 (カーボンニュートラル)	・省エネ、再エネ、電動化、地域との連携による脱炭素社会の実現 ・「Beyond Waste」を目指した資源循環社会の実現
5. 人的資本の強化	・すべての社員が自分らしく働ける企業風土の醸成 ・持続的な成長を実現するための価値創造型人材の育成・配置
6. ガバナンス	・すべてのステークホルダーの期待に応える最適なガバナンス体制の実現

(参考) 小田急グループのサステナビリティ <https://www.odakyu.jp/sustainability/>

以 上